

平成 23 年 5 月 27 日

「日本創成会議～日本の諸システムの総点検～」 趣意書

公益財団法人 日本生産性本部

1. 目 的

東日本大震災からの復興を新しい国づくりの契機として、「復旧」「復興」「創成」の3つの時間軸・空間軸の中で、特に「復興」「創成」に焦点を当て民間の立場から戦略を策定し、10年後の世界・アジアを見据えた日本全体のグランドデザインをつくる。

2. 内 容

東日本大震災にともなう複合危機（巨大津波、福島原発事故、電力喪失、風評被害、サプライ・チェーン寸断）に対する政府の活動を視野に入れながら、東北「創成」を日本「創成」とすべく活動を展開する。

テーマ1：産業創成、雇用創成、エネルギー創成

- 日本の競争力の維持・向上に向けたマクロ視点の産業政策のあり方（サプライ・チェーンシステムの見直しを含む）
- 東北地方を含め、全国の産業政策のあり方（競争力ある農林漁業、地域医療、ハイテク産業づくり等）
- 雇用100%確保を目指した雇用政策のあり方（産業間・職種間・地域間移動の支援体制等）
- 安定的電力の確保および国際的信頼の再構築にむけたエネルギー政策・原子力政策の立て直し など

テーマ2：コミュニティー創成、社会基盤創成

- 日本の優れたソーシャル・キャピタルの蓄積を活かした、安全・安心で暮らしやすいまちづくりのあり方（都市・地方各々に適したコミュニティーづくり等）
- 地域主権、道州制の流れを踏まえた新しい地方行政のあり方
- ハード（道路、鉄道、情報通信網等）、ソフト（共通番号、社会保障制度等）の両面からのライフラインおよび経済活動基盤の強化 など

テーマ3：パブリック・コミュニケーション創成

- 有事における情報管理・伝達の体制・仕組のあり方（情報の一本化や標準化、情報の信頼性を担保する方法を含む）
- グローバル・コミュニケーションのあり方
- 平時におけるリスクコミュニケーションのあり方 など

3. スケジュール

テーマを絞り込みながら検討を行ない、適宜提言を発信する。

以上